

ご神木に咲く初夏の彩り

セッコク



01



01. ご神木に寄り添い咲くセッコク。
02. ご神木を彩る白い花々。

今回の珍百景は、神内地区にある神内神社のご神木に根を張り、美しい花を咲かせる「セッコク」をご紹介します。

セッコクはラン科の多年草で、岩や樹木に着生して育つ植物です。初夏になると白や淡い桃色の可憐な花を咲かせ、かすかに放つ甘い香りとともに神秘的で美しい姿を見せます。野生のセッコクは山林で見られることもありますが、近年は環境の変化などにより数が減少し、貴重な植物となっています。

神内神社では、樹齢約800年・高さ約18メートルの大きなご神木の幹にセッコクが根を張り、毎年きれいな花を咲かせます。長い年月をかけて育まれたご神木と、そこに寄り添うように咲くセッコクの姿は、自然の力強さと繊細な美しさを感じさせてくれます。

また、花の見ごろを迎える時期には、写真撮影などを楽しむ姿も見られます。静かな境内の中で咲くセッコクは、地域の人々に親しまれている初夏の風景のひとつです。

— 珍百景を募集 !! —

みなさんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ？」って思わず言ってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係（☎33-0334）までご連絡ください。お待ちしております。

らびらび

雑誌を読んでもるおまなごころ

今回は、広報担当ならではの「職業病」についてお話ししたいと思います。

その症状は、普段の生活で何気なく雑誌やチラシなどを見ているときに、突然やってきます。最初は普通に読んでいるつもりでも、気づけば内容ではなくレイアウトや文字の配置、写真の使い方に目が向いています。自分が読みたい雑誌も、「この見出しの配置がいいな」「写真の使い方がうまいな」など、頭の中で勝手に分析が始まり、いつの間にか「読者」ではなく「編集者」になっていることもしばしば。気づけば一冊読み終えても、記事の内容よりレイアウトの構成が頭に残っています。これも広報担当ならではの職業病かもしれません。

（読者になれない広報担当 田中 健太郎）

暑さに向けての疲労対策

5月号のひとりごとで「少しずつ暖かくなり」と書かせていただいたのですが、最近では急に暑くなり驚いています。気温差で体調を崩しやすい時期ですので、体調管理には気を付けて過ごしたいと思っています。

僕は、体調を崩さないために、日ごろから疲労を溜めないよう意識しています。その中で、特に心がけていることは「湯舟にしっかりと浸かること」です。実体験ですが、湯舟に浸かった日と、湯船に浸からずシャワーを浴びただけの日では、次の日の疲労具合が全然違いました。それを実感してから、暑くてシャワーだけで済ませたい日にもなるべく湯舟に浸かるようにしています。

暑くなると疲労が溜まりやすくなりますが、今のうちから疲労を溜めないようにしていきたいです。

（春はいつだっていっく 曽越 大成）

